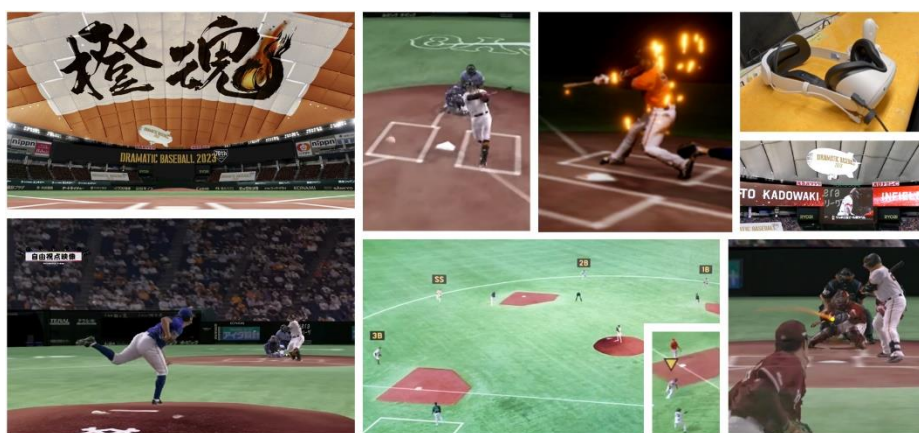


ポリメトリックビデオ技術を活用した革新的なプロ野球中継を実現
 キヤノン・日本テレビ・読売新聞が経済産業大臣賞（日本映画テレビ技術大賞）を受賞

キヤノン株式会社（以下「キヤノン」）、日本テレビ放送網株式会社（以下「日本テレビ」）、株式会社読売新聞東京本社（以下「読売新聞」）は、一般社団法人 日本映画テレビ技術協会が主催する、「MPTE※ AWARDS 2023」において、経済産業大臣賞（日本映画テレビ技術大賞）を共同で受賞しました。日本テレビが放送するプロ野球中継「DRAMATIC BASEBALL」において、ポリメトリックビデオ技術を活用したリプレイ映像の配信や番組演出を行うなど、これまでのスポーツ中継にはない新たな映像表現の確立と、それを実現した技術革新が評価され、今回の受賞に至りました。



ポリメトリックビデオ技術の導入により、これまでにない革新的なプロ野球中継を実現

ポリメトリックビデオ技術とは、100台規模のカメラで同時撮影した画像から、空間全体を3Dデータ化する技術です。空間内をあらゆる位置・角度から捉える自由なカメラワークで、これまでにない映像表現を可能にします。撮影から映像生成までをリアルタイムに行うことができるキヤノンならではの長を生かして、現在、スポーツ中継や音楽のライブ配信など、幅広い用途で活用されています。

キヤノン、日本テレビ、読売新聞による、ポリメトリックビデオ技術を活用したプロ野球中継の取り組みは、東京ドームで開催された読売ジャイアンツの試合を対象に、2022年シーズンは計5試合、2023年シーズンは全試合で実施しました。まるでグラウンド内に入り込んだかのような選手目線の映像や、ファインプレーの瞬間に時間を止めて上下左右を自由に回り込むようなハイライト映像など、通常のカメラでは決して撮影できない革新的な野球中継を実現しました。また、2023年シーズンの一部試合では、撮影中のポリメトリックデータからリアルタイムに作成したVR映像を、解説者がゴーグルを通して視聴し、その主観映像を放送に取り入れるなど、野球中継のさらなる進化を追求してきました。

今回の受賞を励みに、キヤノンは、今後もポリメトリックビデオ技術の技術開発を進めていくとともに、映像体験価値の向上と放送文化の発展に貢献していきます。

<ご参考：日本映画テレビ技術協会について>

映画・テレビに関連する法人・団体と映画・テレビの技術に携わる方々で組織されている団体で、映像技術全般にわたって広い視野に立った国内唯一の法人団体です。詳しくは公式サイトをご覧ください。<https://mpte.jp/>

※ 日本映画テレビ技術協会の英語表記「MOTION PICTURE AND TELEVISION ENGINEERING SOCIETY OF JAPAN, INC.」の略。